

事務事業評価

平成 24 年度

担当グループ 観光・ジオパーク

基本事項	事務事業名	ジオパーク国際ユネスコ会議開催事業				整理番号	1504	
	根拠法令等	-				実施を義務付ける規定	○あり ●なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第6章 地域の個性と魅力を磨いて交流を促進する	▼	予算科目	7 款 1 項 3 目	○継続 ●新規		
事業の目的・実施状況等	事業の背景(課題、市民の要望等)	島原半島ジオパークは、平成21年(2009年)8月に、日本第1号で世界ジオパークに認定され、念願であった世界ジオパークネットワークへの加盟を果たした。その翌年2月末に世界ジオパークネットワークに対し、第5回ジオパーク国際ユネスコ会議開催計画書を提出し、同年4月にマレーシアのランカウイで開催された第4回ジオパーク国際ユネスコ会議において、島原半島ジオパークが第5回会議の開催地となることに決定された。しかし、島原半島、日本国内では、まだまだ認知度が低い「ジオパーク」。				計画期間	始期 平成 22 年から 終期 平成 24 年まで	
	事業の対象及び目的(誰に、何を、どのような状態にしたいのか)	平成24年5月12日から15日まで「第5回ジオパーク国際ユネスコ会議」を開催することで、島原半島ジオパークの魅力全世界へ発信するとともに、活動・情報の共有を図ることによりジオパーク構想の推進を図る。また、市民参加のもと、島原ならではの「おもてなし」により参加者を歓迎し、日本の文化や島原の魅力を存分に堪能してもらう。						
	目的達成のための手段・方法	基調講演、分科会、ジオパークフェア(ブース展示、ジオまるしえ[物産展])、ポスター発表、市民フォーラム(ジオパークと観光、キッチン火山教室、子どもフォーラム[ジオパーク発表、ジオパークQ&A]、ジオパークガイド、ジオパークと防災、アイスブレーカーパーティー、ディナーパーティー、しまばらまちなか交流イベント ジョフェスタ(夜市、おもてなし、ライトアップ、お茶会、歌で国際交流など)						
	成果指標(意図する状態の達成度を図るものさし)	名 称 等 (内 容)		単位	22 年度	23 年度	24 年度	
		①会議参加登録数 前回(平成22年・マレーシアのランカウイ島)大会の参加者(27カ国、423人)を上回る目標を設定。31の国と地域から、過去最多の593人参加登録があり、ほぼ当初の目標を達成した。		目標	人	/	/	600
	活動指標(意図する状態達成のために実施する活動等)	②市民フォーラム参加者数 「ジオパークと観光」、「ジオパークガイドフォーラム」、キッチン火山」、「こども発表会、こどもQ&A」、「ジオパークと防災」 「フォーラムワークショップ報告会」などに、目標数を大きく上回る参加があった。		実績	人	/	/	593
				達成率	%			98.8
		目標	人	/	/	950		
活動指標	①イベント等における住民等の参加		実績	人	/	/	2,039	
			達成率	%			214.6	
	②ジオまるしえ(物産展)入場者数		目標	人	/	/	10,000	
事業費等の推移	区分	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	
		実績値	実績値	実績値	実績値	予 算	計 画	
	①直接事業費(千円)			2,015	21,645	57,153		
	財源内訳	国 県 支 出 金					8,263	
		地 方 債						
		そ の 他			2,015	14,701	41,985	
		一 般 財 源	0	0	0	6,944	6,905	0
	②従事職員給与費 b1×b2	0	0	3,584	7,236	3,639	0	
	従事職員数(人) b1		0.00	0.00	0.50	1.00	0.50	0.00
		職員平均人件費 b2	7,153	7,162	7,168	7,236	7,277	
事業費合計 ① + ②	0	0	5,599	28,881	60,792	0		

【1次評価】

◎事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
目的 妥当性	①住民ニーズの変化等により事業の必要性や役割は変わっていないか	A=変わっていない B=一部変わった C=変わった アジア初となる国際ユネスコ会議は、大勢の市民の参加もあり、盛大かつ成功裏に終了した。市民の機運も盛り上がったところ。	判定 -
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に任せることはできないか	A=可能でない B=一部は可能 C=可能である 半島3市相互の連携並びに関係団体との連携強化により、大会が運営された。	-
	③対象等は事業目的に見合っているか、拡大や絞込み必要はないか、見直しによる費用対効果の向上が図られないか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要	-
有効性	④事業の実施により初期の目的や目標がどの程度達成されているか	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 参加登録数ほぼ達成、市民参加数は大幅に達成	A
	⑤成果の状況を踏まえ、手段等を工夫したり事業内容を見直すことで、成果をさらに向上させる余地はありませんか	A=十分成果が得られている B=検討の余地あり C=見直しが必要 ジオパーク認知度の向上及び機運の向上を再認定に繋げる	A
効率性	⑥活動量や成果を下げずにコストを縮減できないか、投入された資源量に見合う結果が得られているか、改善の余地はありませんか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 市民総出の、島原ならではのおもてなしなども含め、幾多の賞賛を浴びた。	A
	⑦事業の効率性を上げるため、他の事業との統合や事務の省力化など見直す余地はありませんか	A=見直す余地はない B=統合等、検討の余地あり C=見直しが必要	-
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 構成三市で連携し協同できた。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されていますか。全体コストから見て受益者の負担割合は適切か、使用料等の見直しの余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 多数の市民の支援や協力、また、参加があったことから、大会に関して共感を得たものと考えている。	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要			A
判定評点平均			3.00
A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			

◎ 総合評価			
評価 結果	<input type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない)	判 断 理 由	大会は、5月12日から15日にかけて開催され、盛会裏に終了。その後、9月中旬をめぐりに大会報告書を作成して業務を終了する。
	<input type="radio"/> B 改善・見直しを行う		
	<input type="radio"/> B1 事業規模の拡充		
	<input type="radio"/> B2 事業規模の縮小		
	<input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し		
<input type="radio"/> B4 その他の見直し			
<input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更)			
<input checked="" type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)			
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) ○今回の市民の盛り上がり、今後の継続的なジオパークの発展につなげていく (ジオパークの持続的発展のための具体的な施策) ○世界ジオパークネットワーク(GGN)からの指摘事項の解決		
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。			

【2次評価】

総合判定	D 廃止
備考	

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	(千円)